

CASBEE-京都-建築(新築)2018年版
中書島事務所増築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-京都-建築(新築)2018年

■評価ソフト: CASBEE 京都-新築2018 (v.1.0)

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分 評価点 重み係数	住居・宿泊部分 評価点 重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質						2.7	
Q1 室内環境						3.0	
1 音環境				3.4	0.15	3.4	
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		
1.2 遮音				4.2	0.40		
1 開口部遮音性能			開口部遮音性能T2以上	5.0	0.60		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				-	-		
1.3 吸音				3.0	0.20		
2 温熱環境				2.3	0.35	2.3	
2.1 室温制御				2.5	0.50		
1 室温				3.0	0.38		
2 外皮性能				1.0	0.25		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30		
3 光・視環境				2.6	0.25	2.6	
3.1 昼光利用				1.8	0.30		
1 昼光率			●自然 A(全国版準用)	1.0	0.60		
2 方位別開口				-	-		
3 昼光利用設備			●自然 B(推奨内容)	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		
1 昼光制御			●自然 B(推奨内容)	3.0	1.00		
3.3 照度				3.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.25		
4 空気質環境				4.0	0.25	4.0	
4.1 発生源対策				5.0	0.50		
1 化学汚染物質			内装材全てにF☆☆☆☆+VOCにも配慮	5.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.30		
1 換気量				1.0	0.33		
2 自然換気性能			●自然 A(全国版準用) 換気有効開口面積 1/15以上	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33		
4.3 運用管理				3.0	0.20		
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50		
2 喫煙の制御			全館禁煙	5.0	0.50		
Q2 サービス性能				-	0.30	3.1	
1 機能性				3.2	0.40	3.2	
1.1 機能性・使いやすさ				3.6	0.40		
1 広さ・収納性			1人当たりの執務スペースが12㎡以上	5.0	0.33		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33		
3 バリアフリー計画				3.0	0.33		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30		
1 広さ感・景観 (天井高)			事務室の天井高2.7m+窓の設置 リフレッシュスペースの設置	4.0	0.33		
2 リフレッシュスペース				4.0	0.33		
3 内装計画				1.0	0.33		
1.3 維持管理				3.0	0.30		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30	2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.6	0.30		
1 躯体材料の耐用年数			●大切 A(全国版準用)	3.0	0.20		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			床:塩ビタイル 20年	5.0	0.10		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		

2.4 信頼性	1	空調・換気設備				1.6	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備				3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備				2.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法				1.0	0.20	-	-	
	5	機械・配管支持方法				1.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備				1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性						3.1	0.30	-	-	3.1
3.1 空間のゆとり						3.4	0.30	-	-	
1 階高のゆとり						3.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ						4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり						3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性						3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性						3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性						3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性						3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性						3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保						3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)						-	0.30	-	-	2.1
1 生物環境の保全と創出						1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮						3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮, 快適性の向上						2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上						2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー						-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制						BPI _m 0.68	5.0	0.20	-	5.0
2 自然エネルギー利用						●自然 A(全国版準用)	3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化						●自然 C(独自加算) [BEI][BEI _m] = 0.74	3.6	0.50	-	3.6
4 効率の運用							3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価							3.0	1.00	-	
4.1 モニタリング							3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制							3.0	0.50	-	
集合住宅の評価							-	-	-	
4.1 モニタリング							-	-	-	
4.2 運用管理体制							-	-	-	
LR2 資源・マテリアル						-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護							3.0	0.20	-	3.0
1.1 節水							3.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用							3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無						●自然 A(全国版準用)	3.0	0.70	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無							3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減							3.7	0.60	-	3.7
2.1 材料使用量の削減						●大切 B(推奨内容) D(独自基準)	2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用							3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用						●大切 B(推奨内容) D(独自基準)	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用						●大切 A'(全国版準用) B(推奨内容)	5.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材						●自然 B(推奨内容) D(独自基準)	3.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み						●大切 A(全国版準用)	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避							3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用							3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避							3.0	0.70	-	
1 消火剤							-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)							3.0	0.50	-	
3 冷媒							3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境						-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮						ライフサイクルCo2排出率を低く抑えている	3.7	0.33	-	3.7
2 地域環境への配慮							2.4	0.33	-	2.4
2.1 大気汚染防止							3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善						●とも A(全国版準用)	2.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制							2.7	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減							3.0	0.25	-	
2 汚水処理負荷抑制							3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制							3.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制							2.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮							3.1	0.33	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止							3.0	0.40	-	
1 騒音							3.0	0.33	-	
2 振動							3.0	0.33	-	
3 悪臭							3.0	0.33	-	
3.2 風害・砂塵・日照障害の抑制							3.0	0.40	-	
1 風害の抑制							3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制							-	-	-	
3 日照障害の抑制							3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制							3.7	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策						広告物照明なし	4.0	0.70	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						●とも B(推奨内容)	3.0	0.30	-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる